

R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第2123号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市本町6-35 呉竹
TEL(055)975-3210
会長 西本 和夫 幹事 宇田川 茂



広重版画より 三島 朝霧

第2186回例会

2017.11.16晴

司 会

花房孝光君

ロータリーソング

「日も風も星も」
指揮 遠藤真道君

会長挨拶

副会長 佐野宏三君

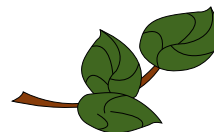
皆さんこんにちは。去る11月11・12日焼津市で地区大会が開催されました。11日は地区役員、会長幹事の合同会議、12日は文化会館で全体会議、登録者は1470名、当クラブから13名、せせらぎ三島RCと一緒にバスで出席しました。会議は3部構成で開会点鐘は9時、第1部は主催者や来賓の挨拶、第2部は記念講演、講師は白駒妃登美氏で演題は「歴史が教えてくれる日本人の生き方」白駒氏は年間200回以上、講演やテレビ、ラジオ出演で全国を飛び回っています。時々静岡県に縁がある歴史上の人物の名前を挙げて、その「志」やそこに生きた人々の「思い」を語りました。話が上手で最後まで飽きることはなかったです。第3部は表彰や次年度地区大会の紹介です。沼津柿田川RCが「意義ある業績賞」を受賞しましたが、受賞理由の説明が無かったのが残念でした。次年度のガバナーは大月RCの星野喜忠さんです。会員数16名のクラブです。クラブの大小に関係なくロータリアンの気骨を見せてくれると思います。閉会点鐘は13時、その後は昼食を兼ねた懇親会です。会場はみんなが知っている「焼津魚センター」ではなく「焼津魚市場」漁港の倉庫でした。バス数十台の大移動で道は渋滞、やっと会場に到着すると中は先客で超満員、懇親会はまだ開宴していないのに、既に飲み食いが始まっています。空いているテーブルを探して右往左往、やっと会場の片隅に少人数のテーブルを見つけて割り込みました。大会のパンフレットに「まぐろと地酒の競演」と謳ってあったので、酒が大好きな私は、まぐろをつまみに焼津の銘酒「磯自慢」を味わうと思っていましたが、大きな間違いでした。1000

人以上の立食で料理と酒をゆっくり堪能は無理です。20分そこそこで会場をあとにして三島に戻ることになりました。三島駅北口の居酒屋で、せせらぎ三島RCとご苦労さん会を開き両クラブの親睦を深めました。

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	36/42	85.71%	40/42	95.24%
今回	34/42	80.95%	会員総数	45名

欠席者 赤池君、柴崎君、鈴木(正)君、須田君、千葉君、平出君、古屋君、矢野君



幹事報告

幹事 宇田川茂君

- ①地区大会ご参加の皆さま、ご苦労様でした。
- ②本日の卓話は佐々木 雅浩さんです。
- ③本日バスト会長会議を18時30分みしまプラザホテルで開催いたします。よろしく願いいたします。

2017～2018年度
国際ロータリー会長
イアンH.S.ライズリー

ロータリー：変化をもたらす

おめでとう

会員誕生日	佐々木君
奥様誕生日	窪田君
結婚記念日	関本(文)君



スマイルボックス

- ◆宇田川君、地区大会の反省会を行いました。その残金をスマイルします。
- ◆木村君、先日霞が関カントリークラブでプレイをしました。朝のレストランで座った席がトランプ大統領の席でした。ラッキー!プレイはオリンピック予定の東コースでした。スコアは100を切りました。
- ◆佐々木君、誕生祝ありがとうございます。
- ◆野田君、久しぶりの人間ドック、特段問題なくほっとするやら、気が抜けるやら、日野原記念クリニックがよかったのかもしれない。
- ◆宇田川君・関本君・伊丹君・木村君・遠藤君・窪田君・前田(房)君・古川君、遠藤正幸さん、写真ありがとうございます。
- ◆森崎君、前田さんの顔見てスマイルします。
- ◆田熊君、なんとなく。
- ◆鈴木(郁)君、本日健診のため早退します。

地区大会



11月12日 焼津文化会館

卓 話

4つのテストに基づいた職業奉仕

佐々木雅浩君

私は、72年前山形県山形市内で生まれましたが、父親は警官として働き、母親は昭和20年ごろ、当時国民病と言われていた重度の結核を患いながらの妊娠だったそうです。医師から再三墮胎するように言われていたそうで、もしこのまま無理をすれば、どちらかの命は保証できないし、最悪は母子共にあきらめることになるかと宣告されたそうです。産みの母親は、私を出産後半年ぐらいで医師の見立てどおり旅立っていき、私は極度の結核性虚弱児としてこの世に生を受けましたが、いつ死んでもおかしくない状態で看護婦さんから「死にそこないの赤ちゃん」と呼ばれていたそうです。間もなく、育ての母親に恵まれましたが、それを知るのは中学2年生になってからでした。私の結核性虚弱体質はなかなか改善できず、栄養をつけようにも戦後の物資配給制度の中、ヤミ物資流通を取り締まる側にいた、警察官の父親はたいへん苦勞したそうです。私には毎日、民間療法の蒸し焼きニンニク1カケ、ヤギの乳コップ1杯、どくだみ茶コップ1杯を、来る日も来る日も3年ぐらい与え続けてくれたそうです。その甲斐あって、無事小学校に入学できまして、3年生までは虚弱児童として体操の時間になるといつも壁の花といわれ見学でしたが、4年生からは体操の時間もみんなと一緒にできるようになり、その後メキメキ体力もつき高校時代の部活は、剣道部に応援団長として活躍できるようになりました。両親に感謝です!

その後、今から40年前32歳の時、現在の仕事「生活習慣病予防・改善施設」を設立すべく、静岡県三島市に移住しまして、焼津市大崩海岸小浜に15床程の小さな小浜診療所で横田良助医学博士にお会いしました。開口一番「人間を始め、あらゆる生き物は、太陽・空気・水・大地に生かされている!」「受精卵の時、人として必要なすべてを授かっている!」「人間本来病なし!」「血液が良ければ健康、悪ければ不健康、改善できなければ病気になり、旅立ちとなる!」「血液の原材料は食物で、人に良い物と書く!」「日々の食生活が健康の要である!」などの話をお伺いして、戸惑いを覚えながら、時間をかけてひとつひとつ丁寧に教えていただきました。先生とは13年間いっしょに仕事を教えていただきながら、会員制健康倶楽部「正食と健康を守る会」を発足させ、30年前、三島市郊外長泉町の駿河平に、駿河平診療所所長として先生をお迎えし、駿河平鍼灸治療院を併設した、滞在型・生活習慣病予防・改善施設「富士ウエルネスセンター」を、設立することができました。

そして、今から10年前に、伊丹秀之バスト会長、関本文彦バスト会長、平野晴生バスト会長の推薦と、会員皆様のご承認を頂戴いたしまして、第2620地区、三島西ロータリークラブに入会させていただき、「4つのテスト」に出会い我が意を得たりと感じました。このスローガンに沿って、「一隅を照らす!」の精神で歩んで参ります。

(週報担当:佐々木雅浩)